

作成: 芝崎

56. 学生時代の思い出篇: **鳥海山**(2236M)の登山

- (1) 友人 3 人で**鳥海山**に 7 月に登った思い出は超強烈に今でも残っている。
- (2) 山には「2 面性」あり、**良し悪し**、**表裏一体**か、**良い点**: 日本海を一望でき、その広さを見て、とてもすがすがしい気持ちに、そして、**プラスα**として、山間の複雑さ来るものか虹が何重にも重なった状態で現れた、もう 2 度と見られない思った**素晴らしい光景**だった。
- (3) **悪い点**: その後、**恐怖**が待っていた...**テントの設定**していた時、7 月後半に、**雪渓**が残っていたのがなんとなく気になった。**雪が残ることは寒いはず**。案の定、寒くて眠れず、震えが来て、お湯を沸かして飲んだが**効果無**、一睡もせず、夜が明けるのを長い時間震えながら待った。
- (4) その 3 人が 50 年ぶりに**再会**: **鳥海山**の話になり、行ってみようとなる。3 合目に山荘があり、今回は 5 月で未だ雪渓多く、本格的な登山の準備必要ゆえ、そこから**鳥海山**を眺めることに。**過去のことが改めて鮮烈に甦る**。この度は**山頂迄行かず**、裾野の**界(海)**隈で滝、池、新緑の森林浴を楽しんだので、**とり(鳥)**あえずホッとする。

鳥: 超(ちょう)強烈な印象が今でも残る

海: 海(かい)、一望できる日本海の夕日はとてもきれい

山: 山(さん)の怖さも同時に受ける

の: 野(の)に咲く草木はとてもきれい: 空気がきれいなんだろう

思: 思(おも)いとは異なり、警告もしてくれる

い: (い)い加減な気持ちではだめだよと

出: 出(で)かける前にはきちんとした準備が、**必要だ**

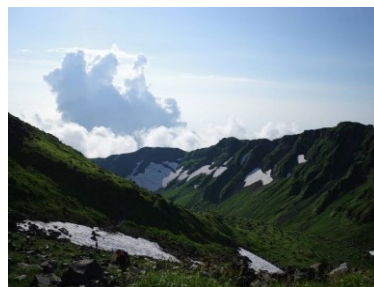


鳥海山は初めは鳥見山(とりみやま)→鳥海山(とりうみやま)→鳥海山(ちょうかいさん)に変化

鳥がいて、**海**が一望できる鳥海**山**(ちょうかいさん)のネーミング良いなあとと思う。

半面、**超**寒く、**怪物**が住んでいる超怪**山**(ちょうかいさん)で、ちゃんと装備して来いよと警告も。

山登りは多くのリスクと隣合わせ、**そう偶然に重なるリスクには遭遇しないはず**、でも用心は大事だ。



上記左図: 由利高原鉄道から鳥海山: 上記右図: 鳥海山の雪渓

(猛禽類保護 センターあり、イヌワシ: ワッシー君)

以上